

季節は春を迎え、卒業式シーズン真っ只中。てだこ市民大学でも、卒業研究発表会と卒業式を終え、次年度の学生募集を行っています。今年の卒業研究発表会では、8期生それぞれの学びや活動の成果を存分に発揮できました。さらに卒業後の抱負を述べ、今後の活動に一層の期待がかかる所です。

今年度の浦添市てだこ市民大学雑記帳は、この第26号が最終号となります。本号では、卒業研究発表会の様子や卒業生インタビュー、次年度の学生募集についてお知らせします。関係各位の皆さまには今年度も多大なるご支援頂きましたこと、誠に感謝申し上げます。来年度の浦添市てだこ市民大学はハーモニーセンターに移転し、在校生や卒業生の集まれる、新たな市民協働の場となります。大きくリニューアルするてだこ市民大学もぜひよろしくお願い致します。

卒業研究発表会

3月24日(土)に第8期生の卒業研究発表会が行われました。今年度は3学部6研究、8期生全員が発表しました。当日は、学長、副学長をはじめ、教育委員や地域の方々に向け、これまでの学びと今後の抱負を発表しました。



健康福祉・スポーツ振興学部
金城幸弘さん
研究テーマ「レッツ・トライ・ゲートボール～全世代交流で人に優しい住みよい地域社会～」

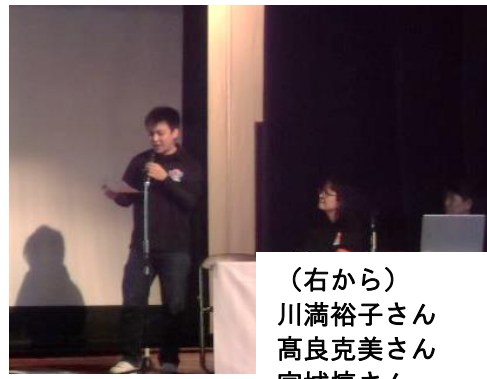
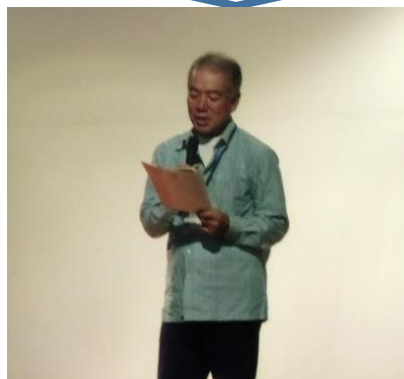
健康福祉・スポーツ振興学部
仲西郁代さん
研究テーマ「ビューティータッチセラピーで介護予防・認知症予防・健康寿命の延伸」

健康福祉・スポーツ振興学部
西啓亨さん
研究テーマ「死を考えることで今を生きる」

健康福祉・スポーツ振興学部
与那原孝さん
研究テーマ「地域福祉実現のための自治会加入率向上」

コミュニティビジネス
地域・振興学部合同研究
研究テーマ「てだこ市民大学の顧客を増やす！」

文化振興・教養学部合同研究
研究テーマ「前田高地4月25日～5月6日の12日間の激戦による、その当時の浦添住民の状況を次世代の子供達へ伝えるために」



(右から)
川満裕子さん
高良克美さん
宮城惇さん



(右から)
崎枝ななえさん
仲宗根生美さん
砂川順枝さん
下地シズ子さん
山崎誠さん

卒業生インタビュー Vol.9

このコーナーでは毎号卒業生にインタビューを行い、卒業後の活動や、てだこ市民大学での学びがまちづくりにどのように生かされているのかをお伝えしていきます！第9回目は、健康福祉・スポーツ振興学部3期生の上地徳一さんです。



健康福祉・スポーツ振興学部
3期 上地 徳一さん

Q. 市民大学への入学の動機は？

A. 自治会役員を4年間、経験してきました。地域に関しては見えていましたが地域外の細部については知らないことが多いと気づきました。手元にあった市民大学の冊子の「目的」に特に関心を抱いていたので、「研究テーマ」を決めて入学できました。1期生の勧誘も大きかったです。

Q. 市民大学で学んだことが今の活動にどう生かされていますか？

A. 市民大学での学びは、社会への還元、ボランティア、協働の意識を芽生えさせてくれました。現在、地域の老人会の世話役をしていますが、老人会への勧誘や若手の育成は大きな課題です。卒業研究テーマの「高齢化社会における地域コミュニティづくりを目指して」は今でも私自身の課題です。

Q. ぜひ伝えたいことや思い

A. てだこ市民大学に対して「カタイ」や「キツイ」等聞こえていきますが、そうではありませんと優しく反論しています。卒業して振り返ると忘れがたい楽しかった市民大学が生涯の誇りとして心に焼き付いています。我々卒業生は地域の同僚や若者への宣伝を繰り返していくことが大切ですね。

募集期間を延長しました！

浦添市てだこ市民大学 第10期生 募集！

「うらそえ」をもっと知り、まちづくりについて学んでみませんか。これまでの市民大学とは違い、1年の学習期間、卒業レポートの廃止など大きくリニューアル！まちづくりに特化した講座で、あなたの夢をお手伝いします。ぜひ一緒に学びましょう！

- 対象／満16歳以上、市内在住・在勤・在学の方
- 講座会場／ハーモニーセンター
- 日 時／木曜日 7時半～9時
- 修学年数／1年
- 講座数／全16回
- 学費／市内在住者1万円、市内在住学生5千円、市外在住者1万5千円



※詳細は広報うらそえ(2月号)、ホームページでも確認できます。

